



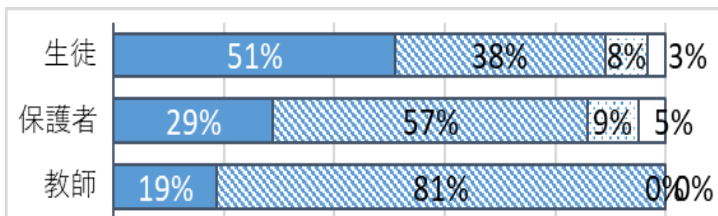
浅中十ウ

第1回学校生活アンケートへの御協力ありがとうございました。

1学期末の学校生活アンケートへの御協力ありがとうございました。その結果を報告させていただきます。生徒との回答の比較や保護者独自の質問の回答について顕著な表れが見られた項目について示してあります。

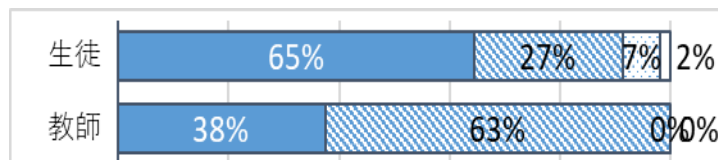


○「学校が楽しい」と感じている



昨年度より「そう思う」と答えた生徒が増えています。新型コロナウイルス感染症対策を行っていきながら、生徒の思いに応えられるように支援をしていきます。

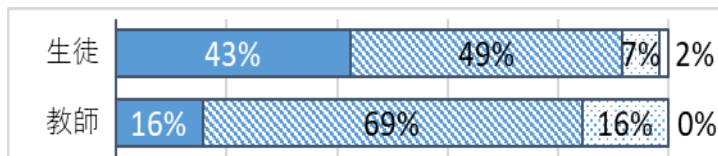
○「みんなで何かをすることは楽しい」と感じている



充実した学校生活を送っている生徒が多くいます。活動に制限はありますが、学校行事や日々の生活の中で、生徒同士の関わり合える場面を大切にしていきます。

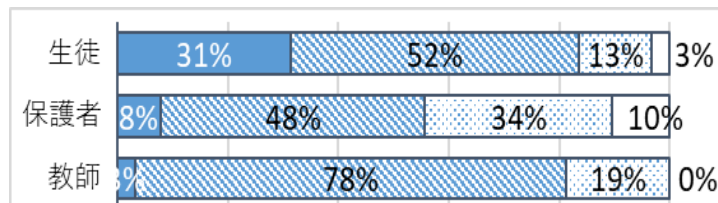


○「授業に主体的に取り組んでいる」と感じている



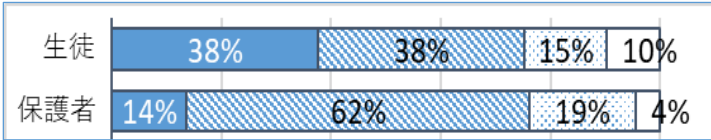
今年度より、学園全体で「任せて認める」指導を行っています。授業の中でよくできた場合は認め、つまずきや間違いは修正し、子ども一人一人の状況に応じて、対応していきます。

○「授業がよくわかる」と感じている



授業がよくわかると実感する生徒が、昨年度よりも増えています。導入された一人一台タブレットを授業や家庭学習などに使い、学習内容の理解につなげていきます。

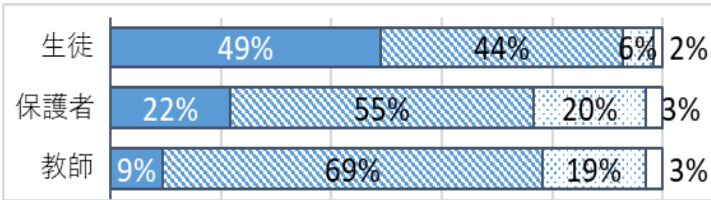
○「学校に信頼できる先生がいる」と感じている



生徒の良さを認める声掛けや生徒と話す機会を増やしたり、生徒の気持ちに寄り添ったりして、生徒の変化にいち早く気付くことができ、今まで以上に生徒に信頼されるようにしていきます。

浅羽中の教職員が、一人一人の生徒や家庭とのつながりを大切にしていき、保護者の皆様に信頼される職員集団となるよう努めていきます。お気づきの点などありましたら、中学校までご連絡ください

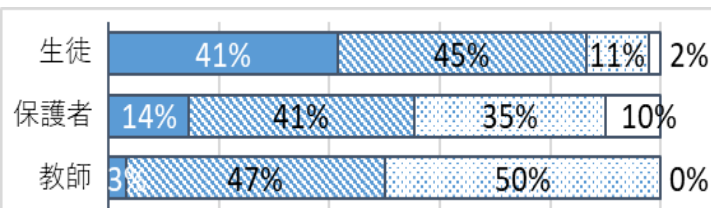
○各学年としての生活習慣が身に付いている



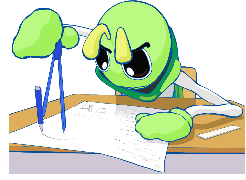
時と場、状況を考えて振る舞いができている生徒が多くいます。さらに自然にできるように、生徒に気づき考えさせていきます。

各家庭と学校での生徒の様子には、差があるように感じます。家庭では、保護者の皆様に頼ったり、甘えたりしている部分があると思います。学校や地域で生徒ができていること、頑張っていることを、保護者へもお伝えできるようにしていきます。

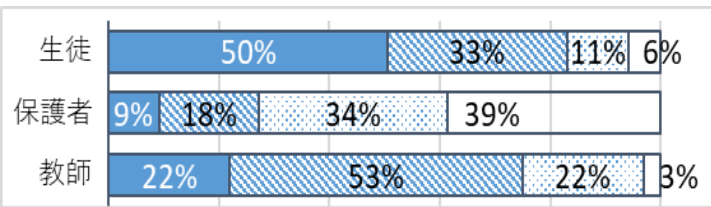
○各学年としての学習習慣が身に付いている



まずは授業の予・復習をきちんと行うことで、生活の中に学習する習慣が身に付いていきます。上級生になるにつれて計画的に行っていくことも必要になってきます。自分の学習内容の理解度や自分自身の特徴にも目を向け、生徒に気づき考えさせていきます。御家庭でも学校同様の指導をお願いします。



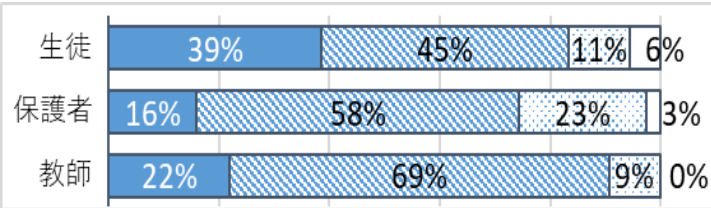
○読書習慣が身に付いている



新校舎になり、学校図書館も充実しました。今年度は市立図書館から週1回お手伝いに来てくださっています。読み聞かせも今後1回実施する予定です。9月末にはビブリアバトルを実施しました。

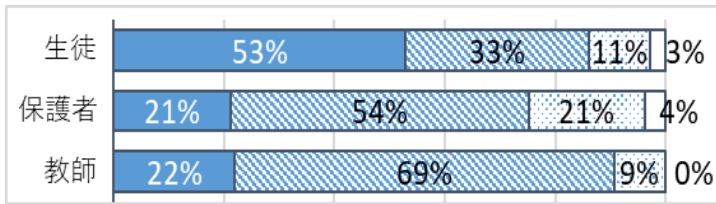


○自分の良いところを伸ばしている



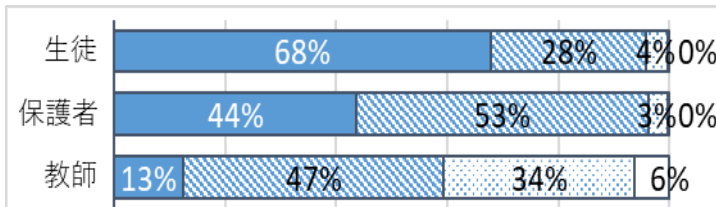
かかわり合いを大切にしていき、授業や様々な活動の中で「わかる」「できる」「楽しい」を実感させていき、自己有用感を高めていきます。そういう機会も教育活動の中で増やしていきます。

○健康を意識して生活している



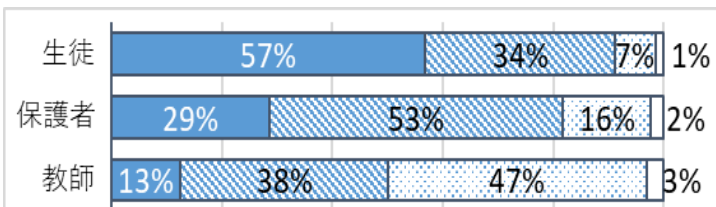
毎月ある「健康の日」の放送、保健だより等を有効に活用して、当たり前で生活することの難しさや大切さに触れ、健康に対する意識を高めていきます。

○交通ルール、マナーを守っている



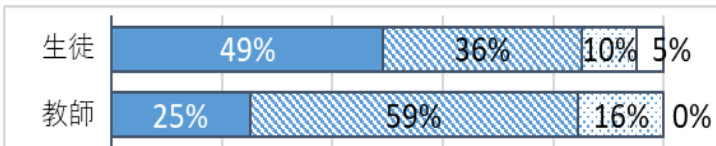
通行する道路や交通事情について、幅広く理解できるようになると、生徒はルールを守ったり、マナーが向上したりして安全意識が高まると考えます。「自分の命は自分で守る」を忘れず、学校と家庭が協力して、交通安全の意識を高めていきます。

○自分から進んであいさつや会釈をしている



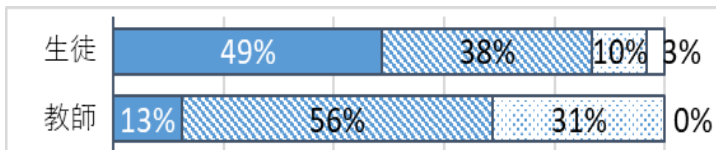
授業や校舎内、部活動などのあいさつの声は元気よく響きます。あいさつは、お互いが心を開いて近づき、人間関係を築いていく第一歩、という意味になります。あいさつすることの大切さを知り、まずは大人自ら手本になっていきます。

○生徒会（対面式、生徒総会、壮行会、委員会等）や学校行事（遠足、校外活動、修学旅行）に進んで参加している



制限はありますが、ウイズコロナを考えた範囲で活動を行うことができました。浅羽学園では今年度「任せて認める」を合言葉にしています。いろいろな活動の中で生徒が自ら考えて行う場面を増やしていきます。

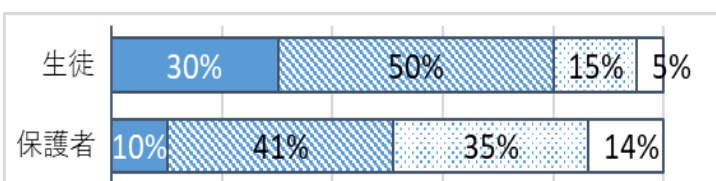
○清掃活動に積極的に取り組んでいる



生徒が自分たちの生活する環境をきれいにしようという意識が高くなってきました。さらに清掃時間を充実させる黙働清掃や見つけ清掃を行っています。

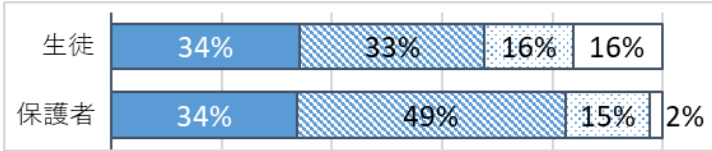


○進んで地域、学校、学級のために役立つ活動をしている



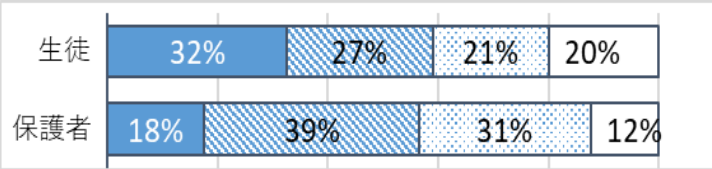
地域の奉仕活動やボランティア、学校での委員会活動等、いろいろな形でお子さんが取り組んでいけるように、頑張りを認め、賞賛していきます。

○子どもと一緒に、子どもの将来のこと（夢や希望）について話すことがある



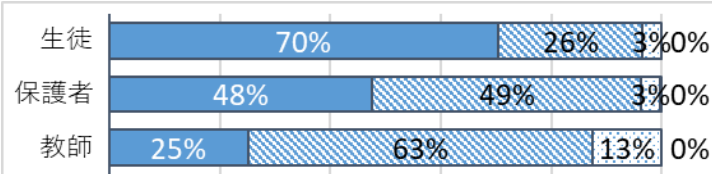
学校では進路（生き方）について様々な機会を設定しています。御家庭でもお父さんやお母さんの経験を語っていただくと、お子さんがイメージしやすくなります。

○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを一緒に決めている

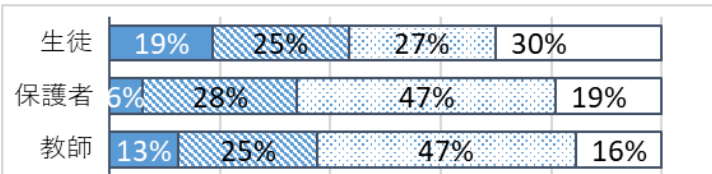


約束をつくると、学習の意欲向上につながります。情報機器の取扱いが問題になっていることが非常に多くあります。学校でもモラルの向上、依存の怖さなどを学び、世間の問題を自分事として考えていけるようにしていきます。御家庭でも学校同様指導をお願いします。

○コロナ感染症予防対策を十分行っている

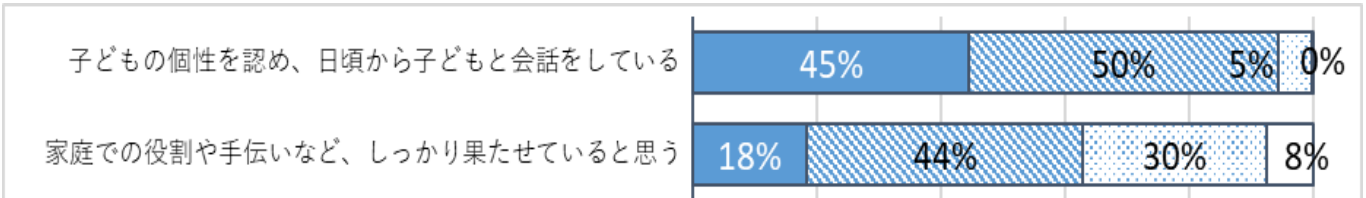


○コロナ感染症に対して、不安を抱えたまま生活している



3密を回避するため、不自由な生活を強いている現状です。ストレスを感じている生徒もいることが予想されます。必要に応じてカウンセラーや養護教諭などによる支援もしていきます。

<保護者のみ>



※自由記述に対する「中学校の現状、考え等」は、「コドモン資料室」「ホームページ」にアップロードしてありますので、そちらをご覧ください。

1学期末の「生活アンケート結果」「自由記述への回答」が大変遅くなり申し訳ありませんでした。頂いた多くの御意見は、浅羽中職員で共有して2学期の学校生活に生かすように心掛けて進めています。

より良い学校にしていくためには、家庭や地域の協力が必要です。お気づきの点などありましたら、中学校までご連絡ください。



<自由記述>

全体に関わる内容について、中学校の現状、考え等を記載しました。

○新型コロナウイルス感染症への対応について（マスク着用等について）

「袋井市学校教育活動ガイドライン」や文部科学省から出されている『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』を元に感染症対策を実施しています。

【文科省 HP https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html】

集団感染リスクへの対応で、飛沫を飛ばさないように通常マスクの着用を指導しています。生徒の健康面を配慮して、外すことが妥当と考えられる場合は、3密が十分に回避されていることを条件に外してよいとしています。

新たな悩みやストレスを感じる生徒も予想されるので、必要に応じて養護教諭やスクールカウンセラーなどによる支援も行っています。

<歯磨きタイム>

昼休みの密を避けるため、昼食時間の残り 15 分から歯磨きを行えるようにしています。食べ終わった生徒から、各学級 3 名程度、歯磨きをしています。それ以降の生徒は 3 名のうち 1 名が終わるまで、教室で待機しています。また、昼休みも歯磨きをできるようにはしてします。密になるのが心配で歯磨きを行っていない生徒もいます。状況によって選択していけるよう、学校でも声を掛けていきます。

○家庭学習について（内容や量について）

袋井市では小中 9 年間を考慮して、小学校 1 年から学年が上がるにつれて与えられた課題は徐々に減少し、関心に応じた学習へと取り組んでいます。そのため、本校でも以前のように、ライティングノート、漢字書き取り、数学 1 P ノートの提出は現在行っていません。年度当初の各教科ガイダンスや日々の授業の中で、自主学習（家庭学習）の取り組み方の話はしています。各学年で各教科から授業に必要な課題等は出ています。また、自主学習は各自必要に応じて提出しています。授業や日々の様子から、必要に応じて個々に声を掛けていきます。御家庭でも御協力お願いいたします。

○部活動について（下校時間、今後の部活動、活動時間等について）

中学校では曜日や月によって下校時間が決まっています。特別に日課が変更されるときもありますが、基本的な日課表から大きくずれるわけではありません。小学生とは違いますので、お子さんから聞いてください。

部活動の終了時刻、完全下校時刻は、磐周地区で月ごと、生徒の発達特性や日没時間などを基に決められています。月予定表に、部活動終了、完全下校の時刻を記載してありますので確認をお願いします。袋井市の「部活動ガイドライン」に則り、活動時間や休養日など部活動の運営について示されています。平日の活動時間、週休日の活動日、時間を校内で確認をしています。ただ、大会等の日程や運営については、競技(部活)ごと異なるため、土日と連続する場合や 2～3 週大会が続く場合があることをご理解ください。

いろいろな部活動の特性や顧問の経験等に違いがあり、全ての部活動で同じような指導はできません。必要に応じて、外部指導員、コーチを依頼していますが、全ての部活動に対応できる外部人材の



確保はできていません。本校職員は、部活動を通して生徒が成長できるよう、今後もできる限りの取組をしていきます。

<今後の部活動について>

令和5年度から部活動がなくなってしまうのではないかと心配される声を聞きました。令和5～7年の3年間で「休日の部活動の地域移行を進める」という提言をスポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議」は出しています。そのため、来年度から段階的に部活動の休日の地域移行は始まると言われてはいますが、部活動そのものはなくなりません。しかし、大きな転換期にあることも事実です。今後の「部活動地域移行」について、県や市の方針やスケジュール等がでましたら、生徒や保護者へお伝えしていきます。

○授業について（生徒の班活動、生徒への声掛け等について）

袋井型授業づくりとして、本校でも「?型学習課題」「対話・議論」「納得解（根拠を明確にして自分の考えを出す）」を大切にして授業を進めています。「対話・議論」では、教師とお子さん、お子さん同士の対話・議論していきます。課題によって活発にならない場合もありますが、ソーシャルスキルを日々の生活で身に付けさせることをしていき、中身の濃い「対話・議論」に近づけていきます。

授業だけでなく、普段から生徒の気持ちを考えて、生徒への声掛けの言葉には気を付けていきます。また、そのときの状況だけを見て判断せず、お子さんから話を聞いたり、状況を確認したりしながら、子どもたちの心に響く言葉掛けをしていきます。

○生徒の成長について（意欲、個性を伸ばすについて）

『「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成』が、本校の令和4年度の教育目標です。教えるべきことは教えながらも、「任せて認める指導」の観点で、様々な活動や取組に対して、進んで挑戦させたり、協働させたりする場面を取り入れています。また、タイムリーな「承認」により、自尊感情や自己有用感を高める取組を通して、自分を鍛え「自立力」や「社会力」を育てていきます。子どもたちは紆余曲折しながら成長していきます。周囲の大人である家庭、地域、学校で協力して、浅羽中のすべての生徒を成長させたいと考えますので、御理解、御協力をお願いいたします。

○いじめのない学校について

生活アンケートや教育相談を定期的に行うだけでなく、普段から生徒の言動に気を配り、必要なら声掛けを行っています。また、生徒が相談しやすい雰囲気を作るよう心掛けています。「いじめ」を認知したときは、その時の指導だけでなく、定期的に声掛けをしながら状況を見守っていきます。今後もいじめは絶対許さない姿勢で指導して参ります。御家庭で、お子さんのようすで気になることがあれば、学級担任、学年職員等へ御相談ください。